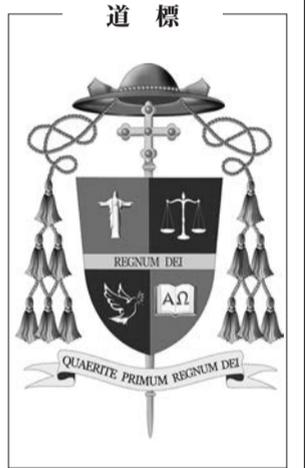




〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

「普遍教会の保護者

聖ヨセフの年」に寄せて

鹿兒島教区司教 中野裕明

教区の皆さま、お元気で
しょうか？

昨年12月8日に発表され
た使徒的書簡で、教皇フラン
シスコは、2021年を
「聖ヨセフの年」と宣言な
さいました。これは、聖ヨ
セフを「普遍教会の保護
者」と宣言した、教皇ピオ
9世の使徒的書簡発布の1
50周年を記念して催され
るものです。

今回はこのことについて
お話しします。

カトリック教会の伝統で
は各信者はこの世を神のみ
旨に沿って生きられるよう
に受洗時に保護の聖人をい
たいただきます。それが洗礼名
ですが、同じように各教会
や、各国も保護の聖人をい
ただいています。因みに、
日本の保護の聖人は聖フラン
シスコ・ザビエルです。

ところで、日本は一つの
地方教会ですが、全世界の
教会を一つの教会として捉
える時、それを普遍教会と
呼びます。そしてこの普遍
教会を司牧するのが教皇で
す。

年を聖ヨセフの年と定め、
普遍教会（全世界の教会）
のために聖人のご保護と神
への執り成しを願うという
ものです。

今回は、教皇フランシス
コの使徒的書簡「父の心
で」に描かれている聖ヨゼ
フの肖像のいくつかの点を
分かち合いたいと思いま
す。

1. 「神のみ旨に忠実で、
思慮深く、思いやりに満ち
た方」

「母マリアはヨセフと婚
約していたが、二人が一緒
になる前に聖霊によって身
ごもっていることが明らか
になった。夫ヨセフは正し
い人であったので、マリア
のことを表ざたにするのを
望まず、ひそかに縁を切る
うと決心した。」（マタイ
1・18、19）

ユダヤ教の教えでは、婚
約中に床を同じくすること
は許されませんでした。と
ころが、マリアは身ごもつ
てしまったのです。普通の
男性なら、マリアへの不信
が募り、彼女を責め、婚約
破棄に至ることでしょう。
しかし、厳格なユダヤ教社
会では、マリアの妊娠は不
貞な行為とみなされ、石打
の刑に処せられることが必



教区シノドスの意義を確認

今年の鹿兒島教区司祭大会

今年の司祭大会は、コロ
ナ禍の中、異例の開催とな
ったが、司祭24人、助祭4
人が会場に集い、5人がオ
ンラインでの参加であつ
た。期間も2日間のみで、
1月19日（火）9時～20日

り、妻を迎い入れ、男の子
が生まれるまで、マリアと
関係することはなかった」
（マタイ1・24、25）ので
す。

男女関係の乱れや結婚の
破綻などについての世間話
や、マスコミの報道が盛ん
なのはこの世の常ですが、
真剣に人生の幸せを追求し
ている若い人たちは、この
ヨセフとマリアの間柄につ
いて熟慮する価値があると
思います。

2. 「マリアと幼子を護る 力強い父親」

「占星術の学者たちが帰
って行くと、主の天使が夢
でヨセフに現れて言った。
『起きて、子供とその母親
を連れて、エジプトに逃
げ、わたしが告げるまでそ
こにとどまっていなさい。
ヘロデが、この子を探し出
して、殺そうとしている』
ヨセフは起きて夜のうちに
幼子とその母を連れてエジ
プトへ去り、ヘロデが死ぬ
までそこにいた」（マタイ
2・13、14）。

3. 「陰で家族を支え、精 神的支柱である父親」

「幼子はたくましく育
ち、知恵が満ち、神の恵み
に包まれていた」（ルカ
2・40）

「イエスは知恵が増し、
背丈も伸び、神と人々に愛
された」（ルカ2・52）
先の文章は幼児期のイエ
スの様子で、後は12歳の時
の様子です。福音書は簡潔
ながら人間の成長過程の大
事なポイントを指摘してい
ます。すなわち、幼児期は
①たくましく育つ、②知恵

今年司祭大会は、コロ ナ禍の中、異例の開催とな ったが、司祭24人、助祭4 人が会場に集い、5人がオ ンラインでの参加であつ た。期間も2日間のみで、 1月19日（火）9時～20日

（水）正午で終了した。
今回大会は「教区シノド
スの意義と重要性につい
て考える集い」とし、司祭
団、そして助祭団が信徒と
共にいかに宣教司牧を推し
進めるか、そのために相互
に更なる理解を高め、かつ
宣教への新たな意識作りを
ということの一環に会し
た。これからの宣教司牧は
司祭と信徒の相互の理解と
協力且つ連帯が大切なキー
ワードだが、今大会がその
機会となれば幸いである。

1日目、朝9時から教区
本部棟2階に集まり、ま
ず、教区長中野司教から基
調講演がなされた。司教は
旧約聖書からエゼキエル書
を朗読し、司牧者としての
役務の重要性などを語つ

きたされています。原因は
色々あるでしょうが、男は
家を出ると、7人の敵がい
る、という言い種が昔から
あります。お父さんの抱え
ているストレスの解消法も
家族で話し合ってみたら
いいのではないのでしょうか。

これらのイエスの成長過
程での父親としてのヨセフ
の役割は大だったと思いま
す。なぜなら、幼子イエス
は、ヨセフの貧しくとも勤
勉で、誠実な労働者（大
工）の後姿を見て育つたと
言えるからです。

教皇フランシスコは、新
型コロナ禍の中で、苦しむ
世界の教会の姿を見て、上
記のような力強い父親とし
ての聖ヨセフの執り成しを
強く願っているのではない
でしょうか。聖人の徳と執
り成しが、この世の施政者
にもたらされることを切に
願います。

た。この講演を聞いて「司
牧者とはそもそもどうある
べきか」ということ反省
と内省を促されつつも、宣
教司牧に当たるすべての司
祭、助祭は自身を振り返る
機会となったかと思う。

その後、教区シノドスの
いわゆる「三部会」である
「典礼・信仰・宣教」のそ
れぞれの委員長から、今日
までの過去1年間における
部会での会議報告と反省、
そして今後の課題につい
て、発表が行われた。

はじめに「典礼部」から
は「ミサとは何か」という
本質論まで出され、信徒自
らが基本から教理等を学び
直す必要性が強調された。

「信仰部」からは「班制
度の新たな展開と共通理
解」のみならず、「霊的な
糧としての聖書的な学び」
の必要性が展開された。
最後の「宣教部」からは
「信徒使徒職の再構築ない

し委員会等の設置」が促さ
れた。

また、午後から、奄美独
自のシノドス取り組みにつ
いてその報告と発表がなさ
れ、今後のシノドスの新た
な展開が予感された。
ここから、すぐに教区と

教区人事

- ▼G・ティエン神父（名瀬
聖心教会主任）は、溝辺
教会主任
- ▼鈴木康由神父（小宿教会
主任）は、名瀬聖心教会
主任
- ▼朴利奎神父（溝辺教会主
任）は、小宿教会主任
- ▼栃尾泰英神父（種子島教
会主任）は、吉野教会主
任
- ▼鄭法鍾神父（吉野教会主
任）は、加世田教会主任
- ▼朴鎮亮神父（加世田教会
主任）は、種子島教会主

に満ちる、③神の恵みに包
まれる、です。
また、児童期は①知恵が
増す、②背丈が伸びる、③
神と人に愛される、となり
ます。
これらのイエスの成長過
程での父親としてのヨセフ
の役割は大だったと思いま
す。なぜなら、幼子イエス
は、ヨセフの貧しくとも勤
勉で、誠実な労働者（大
工）の後姿を見て育つたと
言えるからです。
教皇フランシスコは、新
型コロナ禍の中で、苦しむ
世界の教会の姿を見て、上
記のような力強い父親とし
ての聖ヨセフの執り成しを
強く願っているのではない
でしょうか。聖人の徳と執
り成しが、この世の施政者
にもたらされることを切に
願います。

※着任はいずれも4月11日
▼鈴木康由神父と霧島彬神
父（鴨池教会助任）は検
閲官

※検閲官は、教区司教以外
の著者による記事、原
稿、書物等で、聖書、カ
トリックの信仰・道徳、
神学、教会法及び教会史
に関するものを査読する
役目を持つ。鹿兒島カト
リック教区報も4月号に
掲載するものから検閲官
による査読を受け、
「（出版を）妨げるもの
なし」とされたものを掲
載することとなった。

差別主義と平等主義(11)

紫原教会主任司祭

山口好信

ミサがどのように展開してきたか、先回に続けましょ

3世紀初頭アフリカのテルトウリアヌス。その著「護教論」「兵士の冠」によると、まだアガペー(愛餐)が残っていますが、聖餐は「聖なる食事」から「聖なる食物」に重点が移行していま

「聖体の秘跡(聖餐のサクラメント)」という言葉も使われています。同時に、教会には貧しい人たちが、親のない子供たち、家から出れない老人などのための積立金制度

「外的な見えるしるし」があり、それが指し示している「内的な恵み」があり、それらが「神による制定」であること

3世紀前半、カルタゴのキプリアヌス。「父なる神の大祭司キリストは御父へのいけにえとして御自身を捧げ、さらに御自身を記念してこのように行ないなさいと命じられた。従って司祭もこれに倣い、キリスト御自身がなされたのを見た通りに捧げ物を行なうなら、祭司は教会において真に十分ないけにえを父なる神に捧げることになる」(書簡63)と。キプリアヌスはどんな意図でこのように言ったのか、その解釈は分かれるようで、「キリストが御自身をいけにえとして捧げ

たのと同じように、司教も教会のいけにえをキリストの記念として捧げる」というくらいに理解する者もいる一方で、「エウカリスタアにおいて祭司は、キリストが十字架で捧げたのと同じいけにえを捧げる、すなわち司教が(キリストを捧げる)ことだ」と解釈する者もいるようです

キプリアヌス以降、教会著述家たちは後者の方向で理解し、「キリストのいけにえ」と教会の犠牲的行為(すなわちミサ)をほぼ同一視するようになっていくようになります

ここは注意すべき所で、言うのもキプリアヌスの頃までは殉教する覚悟で信仰していく時代です。聖餐をキリストの体と血であるとして、それを食べ、いわばキリストの命と一体化し、殉教していく。生活と礼拝行為が一つであり遊離していません

「聖餐」の意味が少しずつ変化しています。最初は共同の食事という形でキリストの現存を受けとめていたのが、食事なしの聖餐という儀式が中心になっていき、さらにパンと葡萄酒という食物の聖餐化によってキリストが現存するといった理解になっていった。パンと葡萄酒という外的なしるし、それが示しているキリストの体、それを制定したキリストの言葉、この3つが秘跡を構成するものとして客観的なものとして独立していく。私たち信者の「祈りと生活」が実のないものであっても、聖餐は客観的な恩寵(この場合キリスト御自身)をもたらすものであるという流れになっていきまし

あつても、聖餐は客観的な恩寵(この場合キリスト御自身)をもたらすものであるという流れになっていきまし

「聖餐」の意味が少しずつ変化しています。最初は共同の食事という形でキリストの現存を受けとめていたのが、食事なしの聖餐という儀式が中心になっていき、さらにパンと葡萄酒という食物の聖餐化によってキリストが現存するといった理解になっていった。パンと葡萄酒という外的なしるし、それが示しているキリストの体、それを制定したキリストの言葉、この3つが秘跡を構成するものとして客観的なものとして独立していく。私たち信者の「祈りと生活」が実のないものであつても、聖餐は客観的な恩寵(この場合キリスト御自身)をもたらすものであるという流れになっていきまし

「聖餐」の意味が少しずつ変化しています。最初は共同の食事という形でキリストの現存を受けとめていたのが、食事なしの聖餐という儀式が中心になっていき、さらにパンと葡萄酒という食物の聖餐化によってキリストが現存するといった理解になっていった。パンと葡萄酒という外的なしるし、それが示しているキリストの体、それを制定したキリストの言葉、この3つが秘跡を構成するものとして客観的なものとして独立していく。私たち信者の「祈りと生活」が実のないものであつても、聖餐は客観的な恩寵(この場合キリスト御自身)をもたらすものであるという流れになっていきまし

旧ザビエル聖堂の現状について

茶山教会信徒 土田 充義

鹿児島教区の皆様へ

新しい年を迎え、また新年な気持ちで今年1年取り組むつもりです。中野司教様はじめ皆様も新たな気持ちで、1年を過ごされることと存じます

ところで、前回は福岡教区が旧ザビエル聖堂を受け入れることをしないとの報告を致しました。今回は聖堂の所有者である御受難修道会から12月20日(日)ミサ後に、宗像修道院長代理染野治雄神父様から「25日のクリスマス以降、聖堂でのミサは行わない」旨を告げられました。またこれ

教アムプロシウス。「諸秘義について」(第8〜9章)から要約すると「教会の秘跡は人からのものではなく神からのものである。マナを食べた者は死んだが、天から降りてきた生けるパンを食べる者は決して死なない。これは永遠のいのちを持ったキリストの体である。キリストの体を受けるといふこと、すなわち秘跡に、聖餐化(恩寵)を客観的にもたらすのは、司祭の言葉と所作である。イエスの言葉に信仰を置くものとはいえず、呪術的な儀式に陥ってしまう傾向もはらんでいたと言えないでしょうか。その後の平和な時代、4世紀のコンスタンティヌス帝以後の教会は、帝国からの支援と保護を受け、聖職者が社会的な高い地位や財産を得ます。誰もが洗礼を受け、形ばかりの信者が増えていき、儀式的な礼拝行為は実生活から遊離したものになる傾向を持ちました。4世紀後半、ミラノの司

教アムプロシウス。「諸秘義について」(第8〜9章)から要約すると「教会の秘跡は人からのものではなく神からのものである。マナを食べた者は死んだが、天から降りてきた生けるパンを食べる者は決して死なない。これは永遠のいのちを持ったキリストの体である。キリストの体を受けるといふこと、すなわち秘跡に、聖餐化(恩寵)を客観的にもたらすのは、司祭の言葉と所作である。イエスの言葉に信仰を置くものとはいえず、呪術的な儀式に陥ってしまう傾向もはらんでいたと言えないでしょうか。その後の平和な時代、4世紀のコンスタンティヌス帝以後の教会は、帝国からの支援と保護を受け、聖職者が社会的な高い地位や財産を得ます。誰もが洗礼を受け、形ばかりの信者が増えていき、儀式的な礼拝行為は実生活から遊離したものになる傾向を持ちました。4世紀後半、ミラノの司

「聖餐」の意味が少しずつ変化しています。最初は共同の食事という形でキリストの現存を受けとめていたのが、食事なしの聖餐という儀式が中心になっていき、さらにパンと葡萄酒という食物の聖餐化によってキリストが現存するといった理解になっていった。パンと葡萄酒という外的なしるし、それが示しているキリストの体、それを制定したキリストの言葉、この3つが秘跡を構成するものとして客観的なものとして独立していく。私たち信者の「祈りと生活」が実のないものであつても、聖餐は客観的な恩寵(この場合キリスト御自身)をもたらすものであるという流れになっていきまし

「聖餐」の意味が少しずつ変化しています。最初は共同の食事という形でキリストの現存を受けとめていたのが、食事なしの聖餐という儀式が中心になっていき、さらにパンと葡萄酒という食物の聖餐化によってキリストが現存するといった理解になっていった。パンと葡萄酒という外的なしるし、それが示しているキリストの体、それを制定したキリストの言葉、この3つが秘跡を構成するものとして客観的なものとして独立していく。私たち信者の「祈りと生活」が実のないものであつても、聖餐は客観的な恩寵(この場合キリスト御自身)をもたらすものであるという流れになっていきまし

が御受難修道会の決定事項であることも申し添えられました。その上で「聖堂を残すことに種々努力をしたがうまく事が運ばなかった」とも話されました。その決定には疑問もあり、それは2013年11月16日の献堂式で御受難修道会準管区長松本一宏神父様は参列者の皆様の前で「寄贈された聖堂を大切に使います」と言われ、またご聖体も安置されているのに「ミサをささげない」とされたからです。あの日の献堂式には郡山司教様をはじめ鹿児島教区の皆さん方はバスで参加して下さい

聖ヨセフを普遍教会の保護者とする宣言150周年を記念して

使徒的書簡 父の心で



よ普遍する記すを8月8日ヨセフに「沈黙の聖人」とも呼ばれるヨセフに、コロナ禍にあって社会を支える多くの働き手や、困窮する人々を支援する人々を重く、聖母と幼子イエスを献身的に保護したその生き方、この大工の職人としての創造的な勇気をもつて、神は大切なものを必ず救ってくださる」とのメッセージを伝える。

ヨセフ年の免償を規定する教皇庁内赦院の教令と、教皇ピオ9世の宣言を告知する1870年の礼部聖省の教令「クエマドモドウム・デウス」を併録。
A5版 48頁 価格165円(税込)

カトリック中央協議会出版部
Tel.03-5632-4429
FAX.03-5632-4456

した。遠くからのご参加にお礼を申し上げます。12月20日に説明をされた染野神父様が退席された後、「宗像福音の会」戸上会長からミサはないけれども第3日曜日午後2時から教会の提案がありまして、今後聖堂の維持等どうするのかの話し合いしたいと思います。

思います。多くは古賀教会や水巻教会に所属されている方々です。第2・第3日曜日のごミサの奉仕をされ、維持管理に努めてこられた方々です。福岡教区からも御受難修道会からも聖堂は相手にされなくなってしまうかもしれません。このことだけは報告したいと思います。

ておきたいと思いましたが、この状況を心配されて、何人の方からご連絡をいただきました。今後、どうなるかさぞかし心配でしょう。将来どうなるかは分かりませんが、聖堂再生にご支援を頂きました皆様、熱意を尊重して見守っていき

小宿教会聖堂改修を終えて

信徒総代 久保正子

小宿教会は村はずれの山麓に建つ瀟洒な佇まいの小さな教会です。また庭にそびえるガジュマルとのバランスが絶妙で「ガジュマルの教会」と呼ばれ、多くの巡礼者が訪れ、映画のロケ地に選ばれたほどです。

その教会も建設から長い年月が経ち外壁内装共に劣化が激しく、改修が皆の念願でした。この度信徒一同の総意のもとに改修工事が

行われ完成いたしました。そして「聖家族の祝日」(12月27日)に中野司教様においで頂き、改修なった聖堂で祝福のミサをささげて頂き、時節柄さやかではありましたがお祝いをすることができました。

これからも先人たちが築いてきた「神の家」小宿教会を守り、イエス様のお言葉通り一人も欠けることなく聖霊の力を借りながら「神

4月設立で調整 教区福祉施設協会

「カトリック鹿兒島教区内福祉施設協会」設立の準備をする会合が2月4日(木) 13時から1時間程度、オンラインを利用して開催された。出席したのは教区内にある八つの福祉施設からの12人とシノドス宣教部会長で社会福祉法人善き牧者会の理事長を務める頭島光神父の13人。

会議では11月の準備会で検討された規約等が承認さ



オンラインで開催された会議

れたほか、各施設からの年会費で事業を運営することなどが申し合わされた。同協会は4月スタートの計画で準備が進められている。

の国」の建設のために働くことを新たに誓いたいと思います。



シノドスニュース

▼信仰部会

1月24日(日)午後、教区本部で第6回目となる部会を開いた。出席者は14人。会議では4月25日(日)開催の班長研修会について検討した。

▼奉献生活者のためのミサ

主の奉献の祝日の2月6日(土)、ザビエル教会聖堂で修道女連盟主催による「奉献生活者のためのミサ」がささげられた。ミサ

は中野司教と小隈神父、霧島神父の3人で司式され、22人の修道女が参列した。福音朗読後の説教で中野司教は「主の奉献」の典礼の歴史を振り返り、モーセの律法に従い、イエスを主に献げるためにエルサレムに上ったマリヤとヨセフがシメオンとアンナに出会ったことに触れた。その上で司教は「修道者は、シメオンがイエスの生涯とマリヤの苦しみを示したように、修道者としての生き方で人々の人生の指針となつて欲しい」と結んだ。

会と催し 3月

- 3日(水) 中野アカデミー・教区本部・19時
- 5日(金) 田邊徹神父命日(2018年)
- 7日(日) ▼性虐待被害者ための祈りと償いの日
- 7日(日) 四旬節第3主日
- 14日(日) 四旬節第4主日
- 17日(水) 日本信使発見の聖母
- 19日(金) 聖ヨセフ
- 21日(日) ▼サンタマリヤ神父、栃尾泰英神父、タム神父霊名
- 21日(日) ▼ゼローム神父命日(2003年)
- 21日(日) ▼レジオマリエ鹿兒島コミチウムのアチエス・ザビエル教会・14時
- 24日(水) 中野アカデミー・教区本部・19時
- 25日(木) 神のお告げ
- 27日(土) 正義と平和協議会・教区本部・13時
- 27日(土) 青年会・鴨池教会・18時30分
- 27日(土) パストラルケア・教区本部・14時
- 27日(土) コンタリーニ神父命日(1998年)
- 28日(日) ▼島田喜藏神父命日(1948年)
- 28日(日) ▼受難の主日(枝の主日)
- 28日(日) ▼世界青年の日
- 29日(月) ▼オリブの会及び共にこの道・教区本部・14時
- 29日(月) ▼美島春雄神父命日(2016年)
- 30日(火) ▼明松尊吉神父命日(1992年)
- 30日(火) ▼聖香油ミサ・ザビエル教会・11時
- 30日(火) ▼コンベンツス・教区本部・13時
- 31日(水) ▼中野アカデミー・教区本部・19時
- 31日(水) ▼河野純徳神父命日(1989年)

祈りの意向

【祈祷の使徒会】

福音宣教 和解の秘跡
日本の教会 東日本大震災被災者のため

3月叙階の聖職者 敬称略

名前	叙階年	日	所属
田原 章	1953年	17日	教区司祭
永山幸弘	1968年	20日	教区司祭
郡山健次郎	1972年	20日	名誉司教
丸野六雄	1977年	19日	教区司祭
寝占敦之	1983年	20日	教区司祭
坂本 進	1984年	17日	教区司祭
頭島 光	1987年	21日	レデンブートル会
小隈憲士	1988年	21日	教区司祭
山口好信	1991年	24日	教区司祭
泉 浩二	1993年	25日	教区司祭
末吉卓也	2003年	21日	教区司祭
内野洋平	2003年	29日	コンベンツアル会
鄭法鍾	2013年	20日	教区司祭
宋診旭	2013年	20日	教区司祭
諏訪勝郎	2019年	21日	助祭
川口 茂	2011年	6日	終身助祭
石神秀人	2011年	6日	終身助祭
池上利男	2018年	21日	終身助祭

ここに「夫が妻を離縁すること、法律に適合しているかどうか」という質問に対し「マタイ19・3、マルコ10・2a、イエスはモーセが命じたことを彼らに問い返されました。彼らは「人が妻をめぐり、その夫となつてから、妻に何か恥すべきことを見いだし、気に入らなくなったときは、離縁状を書いて彼女の手に渡し、家を送る。」という言葉をもちて答えます(申命記24・1)。

《康由神父の聖書教室(35)》

結婚についての考察

して大声でしゃべることなど、こうした条件を満たすのなら当時は公然と離縁が認められていたのです。随分と身勝手な男性の言い分が

まかり通っていた時代だったもので。イエスは「夫が妻を離縁すること、法律に適合しているかどうか」という質問に対し「マタイ19・3、マルコ10・2a、イエスはモーセが命じたことを彼らに問い返されました。彼らは「人が妻をめぐり、その夫となつてから、妻に何か恥すべきことを見いだし、気に入らなくなったときは、離縁状を書いて彼女の手に渡し、家を送る。」という言葉をもちて答えます(申命記24・1)。



にこのような掟をモーセは書いたという話を語りました(マタイ19・8参照、マルコ10・5参照)。そして創世記を引き合いに出し、人間を男と女に分

けて創られた神様にとつて二人は一体であることを言われました(マタイ19・4、6参照、マルコ10・6、8参照)。これは単なる象徴ではなくお互いがそれぞれを離れ、結ばれることにより改められて自分が神様や両親から愛されてきたことを知り、その愛を新たに伝えていくことができるようになるために一つになる、即ち、夫婦になるという事です。ということは結婚の目的には神様や両親からの愛をより深く悟り、そ

れに「夫が妻を離縁すること、法律に適合しているかどうか」という質問に対し「マタイ19・3、マルコ10・2a、イエスはモーセが命じたことを彼らに問い返されました。彼らは「人が妻をめぐり、その夫となつてから、妻に何か恥すべきことを見いだし、気に入らなくなったときは、離縁状を書いて彼女の手に渡し、家を送る。」という言葉をもちて答えます(申命記24・1)。

教区シノドス これからどう進む⑥ 全員参加の共同体を目指して

教区シノドス推進会事務局 長 野 宏 樹

小共同体(班)中心の教会

これまで4回にわたって、さまざまなタイプの小教区像をながめてきました。私たちが属している小教区は、どのタイプに近かったのでしょうか。

今回は、5番目のタイプの、「小共同体(班)中心の教会」と呼ぶこともできる小教区像について考えていくことにします。(注・鹿児島教区では「班」という言葉に聞きなれていますが、ここでは世界中でよくつかわれている「小共同体」という言葉を使います。)

1. 絵が表していること

左の絵は、私たちがめざす理想の小教区像を表したものです。

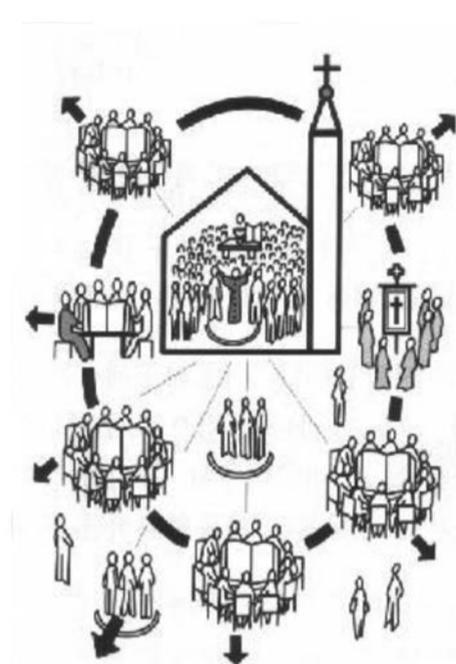
この絵の小教区の基本となっているのは、「小共同体」です。これまで提示した4つの絵と比較しながら、この「小共同体」中心の教会の特徴がどこにあるのかを考えていきましょう。

①これまでの絵と大きく違っているのは、小教区のほとんどの信徒が、10名ほどのメンバーで作られたグループ(小共同体)のどこかに属しており、大きな本を広げて話し合っているところと、この本は聖書を表しており、み言葉の分かち合いが彼らの生活の中心となつていきます。

②それぞれのグループから外側へ向かって矢印が、彼らが自分たち信徒以外の隣人に対して関心を持っていることを表しています。

③各グループ同士をつないでいる、また各グループと聖堂との間にある線は、各小共同体が互いに連携を保ち、小教区共同体そのものとも結ばれていることを表しています。

④黒いスーターを着た司祭がいるグループは小教区評議会を表していますが、このグループの中央にも大きな本があります。これも、み言葉の分かち合いをしながら、神の望みにかなう小教区共同体を作るための活動をするのです。



動をするのです

⑤聖堂内の様子もこれまでのものと違います。祭壇の上には、聖書とカリスがあり、聖堂には、各小共同体に属する小教区全体の信徒が日曜ごとに集まり、ことばの典礼と感謝の典礼とが一体となった聖体祭儀を通して、主キリストと出会い、癒しと新たな力を得て各自の生活の場へ出ていきます。

2. 小教区評議会の役割

この「小共同体中心の教会」での小教区評議会の役割は、3つ目のタイプの「小教区評議会中心の教会」のものと比べて、より積極的で前向きなものに変わっています。

教区シノドスで提言された班制度の復活もこの観点からの検討が織り込まれつつあります。

①小教区評議会の役員たち

各小共同体(班)から選ばれるので、情報や提案などが各小共同体から小教区評議会へ直接伝えられるし、小教区評議会からの連絡なども直接各小共同体へ伝えられます。相互交流のための二つの流れがあるわけです。

②小教区評議会は、小教区全体の取りまとめの役割をします。

③その役員たちの任務は、小教区共同体に属している人たちが全員に希望と勇気を与え、信徒一人ひとりの使徒的活動の助けをすることです。

3. 私たちが目指す小教区

私たちが目指そうとしているのが、この「小共同体で結ばれた小教区共同体」です。

す。それがどのようなものなのかを再確認するために、ポイントを整理してみると、以下のようなかとおもいます。

①一つの小教区は、多くの小共同体(班)によって構成されます。全信徒は、自分の住んでいる地域の小共同体のメンバーになります。

②すべての信徒は、聖霊の恵みによって自分に与えられているカリスマを有効に活用するよう努力します。それぞれの信徒は、そのカリスマを自分が属する小共同体活動を通して活用することによって、教会全体のために貢献します。

③小共同体活動の基礎となるのは、「み言葉の分かち合い」です。信徒たちの基本的な信仰の養成は、この小共同体の中でなされていきます。

④すべてのキリスト者は、各自の能力に応じて隣人に奉仕するよう召されています。

た。社会的弱者への配慮が見られなかったのは、イスラエルにおいて本当の意味で自分達が神様に生かされていることに對する感謝がなかったのかもしれない。

感謝こそが神様への礼拝の一番大切なことであり、預言者アモスにとつてはイスラエルの人々の神殿での神様に対する礼拝が形骸化したものに見えていたと思います。

我々の社会は資本主義市場経済の下での競争社会であり、かつ社会保障福祉の進んだ福祉社会でもありません。流行の言葉で言えばケアの精神です。市場経済はつい最近までは生き馬の目を抜く形容されるような殺伐とした社会で、時には

⑤それぞれの小共同体(班)は、互いに堅く結ばれています。各小共同体は、自分たちの小共同体から選ばれた小教区評議会役員を通して、小教区全体とつながっています。また、小教区評議会のつながりも保ちます。

⑥主日の聖体祭儀は、小教区すべての信徒が一堂所に集まり、キリストとともに御父に感謝をささげる、一週間の生活全体の中心となる集いです。

⑦すべてのキリスト者は、キリストをまだ知らない人々にもキリストの福音を宣べ伝える使命を受けています。経済的、政治的、社会的次元でもこの世に影響を及ぼしながら、社会全体の福音化に貢献していく使命を担っています。

これまで5回にわたって、さまざまなタイプの小教区像をながめてきました。見方を変えれば、小教区

欲望悪徳の支配するところとみなされてきました。しかし、最近はその競争の諸条件を対等にして、正々堂々と渡り合うというフェアの精神がしばしば口にされるようになってきています。

スポーツ競技では、フェアに振る舞いルールを守ることで戦いは秩序あるものとなりそのスムーズな展開が可能となります。違反行為は競技そのものの存在を危うくしてしまうので厳しく批判され、ペナルティーが科せられます。フェアという形容の反対には汚い醜いが挙げられます。フェアとは綺麗なやり方であり、美という意味でもありません。フェアは単に公正公平という前提であるのみでは

の成長過程を確認してきたとも言えるでしょう。現在自分たちが属している小教区は、どのタイプの要素が強いでしょうか。また、なぜそう考えるのでしょうか。そして、理想のタイプの小教区に変化するために、自分たちの小教区が優先的に取り組むべき課題は何なのかでしょうか。

ザビエル書院からお知らせ

お問い合わせの多かった2021年版の手帳(女子パウロ会)が入りました。税込880円となります。お問い合わせは3月30日と31日は休業いたします。

なく美しいという意味を持つ善でありかつ美なので、私たちがこれまでに経験したことがないウィルスと立ち向かいながらこの危機を乗り越えていく必要がある。世界のすべての人々の生命と健康を守る取り組みを推進していく中で、とくに社会的経済的弱者の支援を優先していく必要がある。(加世田教会・川口茂)

社会問題の分かち合い

(毎月第三土曜日) 日時: 3月27日(土) 13時~16時 場所: 教区本部 内容: 原発・改憲・沖縄問題についての情報交換 その他

KJPP (鹿児島正義と平和協議会) 通信 3月号

アモス書の講話の記事を読みました。その一部を紹介したいと思います。

「善を求めよ、悪を求めな。お前たちが生きることでできるために。そうすれば、お前たちが言うように万軍の神なる主は、お前たちと共にいてくださるだろう。悪を憎み、善を愛せよ。また、町の門で正義を貫け。」(アモス書5章14(15節))

「神の正義」とは何かについて書かれています。神様に礼拝すること(これは当然大切なこと)と、

日常の生活において他者(隣人)と良い関係を結ぶこと、社会正義に配慮できるようにする人間になることを語っているのだと思います。神様への礼拝と「隣人愛」の実践、社会正義の実現に配慮できる人間になることを神さまはアモスの口を通じて語っておられるのだと思います。

正義とは、すべてを生かしてくる神様の恵みの力のことです。イエス・キリストの恵みによつて生かされていることを感謝するためのものです。